

様式第2号(第8条関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年9月14日

埼玉県知事 殿



提出者

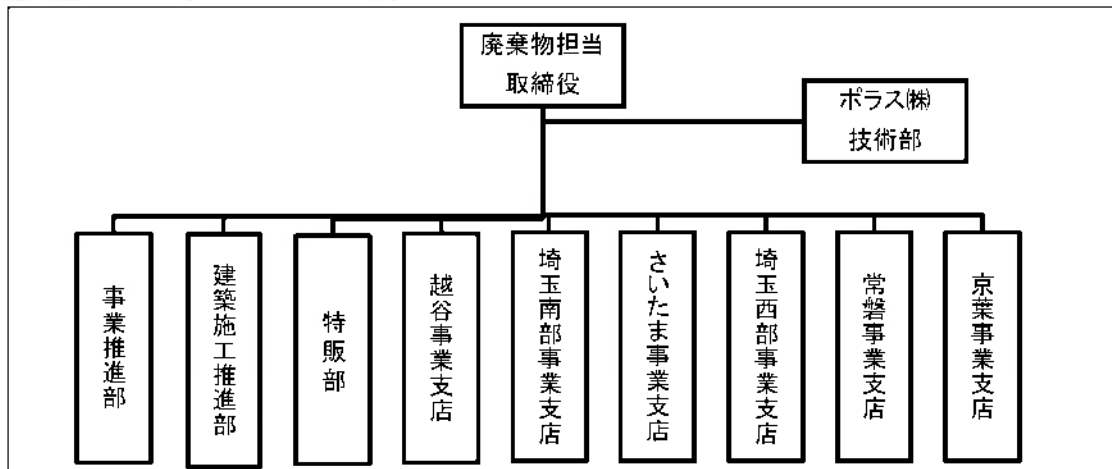
住 所 埼玉県越谷市新越谷1-71-2
氏 名 ポラテック株
代表取締役 中内 晃次郎
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
連絡窓口 ポラテック株(特販部)
電話番号 048-961-3115

2022年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、埼玉県生活環境保全条例第20条第2項前段(後段)の規定により、次のとおり報告します。

事業場の名称	ポラテック株特販部
事業場の所在地	川越市、さいたま市、越谷市、川口市以外の埼玉県内各地域
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完成売上高1,946,181,180円
③ 従業員数	35名(2023年6月10日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	木くず→破砕→再生利用 廃プラスチック類→圧縮梱包→再生利用 がれき類→破砕→再生利用 紙屑→圧縮梱包→再生利用 金属くず→破砕→再生利用 ガラス陶磁器→破砕→再生利用 混合廃棄物→破砕・圧縮梱包→再生利用

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙A表2参照	
	排 出 量	別紙A表2参照	217.98t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙A表3参照	
	排 出 量	別紙A表3参照	196.182t
	(今後実施する予定の取組)		
上記①を一層向上させる			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 解体工事では特定建設資材、新築工事では段ボール・木くず・金属くず・がれき類・石膏ボード・廃プラ(塩素系を除く)の一部を分別し、できるだけ再生委託
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙A表2参照	
	全処理委託量	217.98t	t
	優良認定業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
解体工事 建り法特定建設資材や金属くずは専門再生業者へ委託			
新築工事 木くずや廃プラスチックの一部はRPF製造業者へ、石膏ボードは広域認定メーカーへ再生委託			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙A表3参照	
	全処理委託量	196.182t	t
	優良認定業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者へ の処理委託量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			
上記の実績と同様			
※事務処理欄			

